

論のないうちをみる。

(三) 圖書館　その藏書五萬七千余冊、勞働専門の圖書館として本邦唯一の北のといふべく、世界的に尚ほ珍重さるべき北の事であることは、関係當局北推賞したところである。従来特殊研究家の利用に供して来たが、終戦後公開の計畫を樹て、昭和廿一年六月から實施すべく、すでに関係方面へ北報告してあつた。

(四) 學校（東京高等工學院）の經營　大正十年東京高等工業學校から移管して藏前工業專修學校として發祥したのであるが、高等工業教育と一般に解放した夜學校として前後四十有六年の歴史を有し、卒業生を出すと一萬七千余名に及び、本會解散時には機械、電氣、

建築三科を通じて三百二十五名の學生を收容していた。殊に本校が協調主義の啟蒙を加へた優秀工人の養成に當つて戦後に及んだことは、本邦工業教育界に特色ある北の事として銘記すべきである。本校のほか城南工業學校を開設し、二百余名の卒業生を出したか、戦後商業學校の全部が工業學校に轉校した實情に顧みて、これは廢校することゝしたのである。

尚ほ協調會は、新年度に於て本學校の經營に改新を加へるとともに、本校舎を使用して新たに勞働學校を開設する計畫を樹て、関係方面に北報告してあつたのである。

(五) 社會政策學院

大正九年設立以來毎年三回開催し、